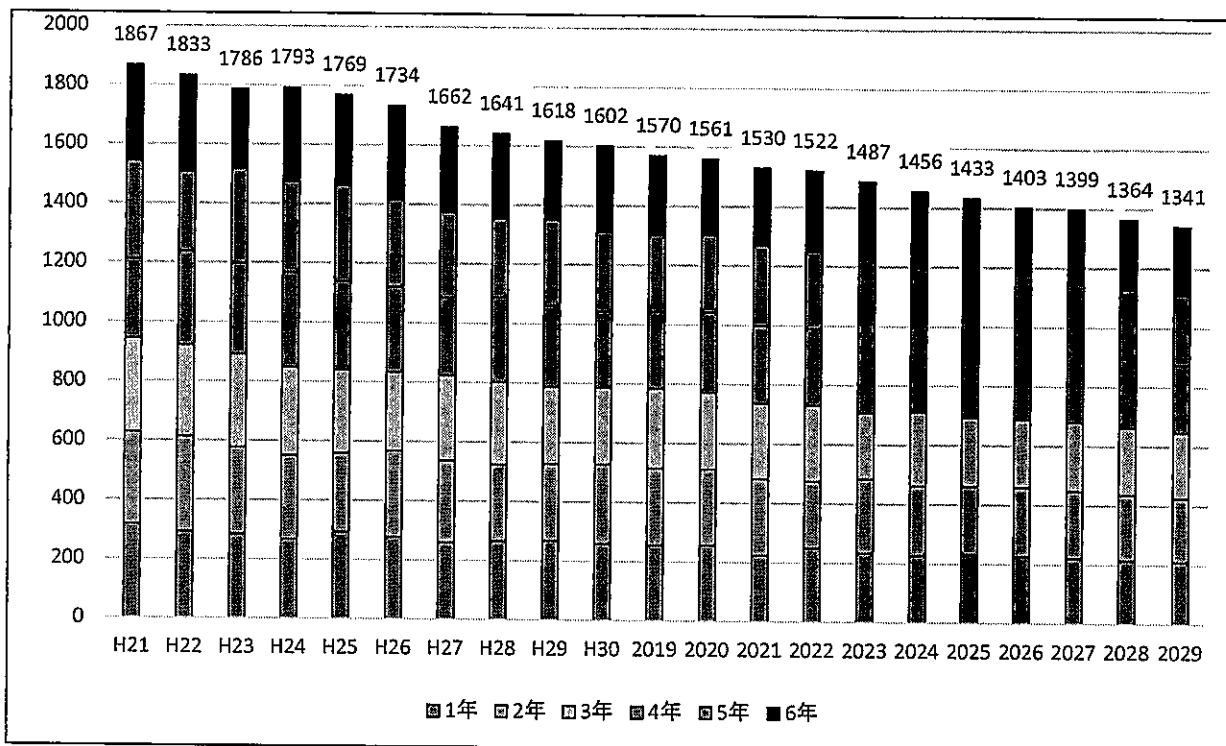


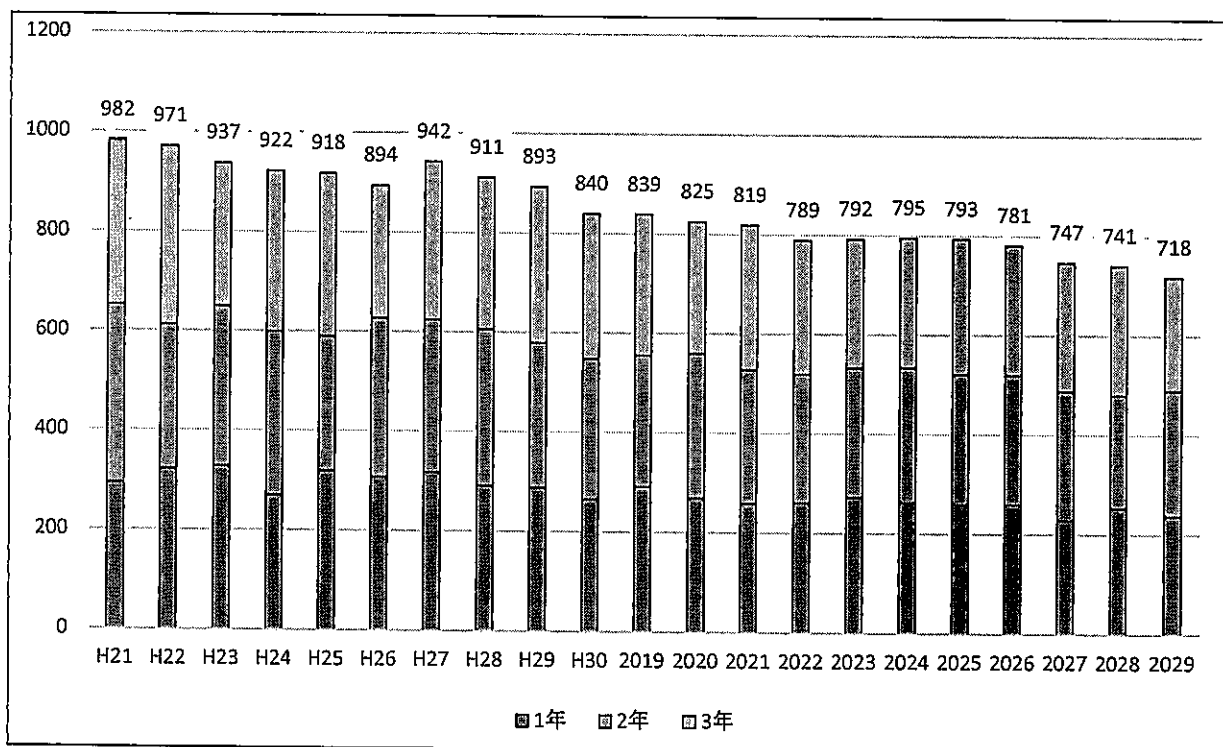
表2 児童生徒数の推移と推計（グラフ）

【小学校】



※平成21年度以降H30年度までで265人の減少（△14.2%）、平成40年までにはさらに238人の減少（△14.8%）が見込まれる

【中学校】



※平成21年度以降H30年度までで142人の減少（△14.5%）、平成40年までにはさらに99人の減少（△11.8%）が見込まれる

表3 学校の規模と学級数の関係 (公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引きから引用)

規模		過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
学級数	小学校	0~5	6~11	12~18	19~30	31~
	中学校	0~2	3~11	12~18	19~30	31~

表4 通常学級の学級編制基準

学級編成	小学校		中学校	
	学年	1学級の人数	学年	1学級の人数
単式学級	1・2年	30	全学年	35
	3年以上	35		
複式学級	1・2年	8人以下	/	/
	3年以上	2学年合計で16人以下		

※小学校では1年生を含む場合は8人以下、含まない場合は16人以下

※中学校では、島根県では生徒数に関係なく複式学級編成はしないこととなっている。

表5 児童生徒数・通常学級数の推移と推計

年度	小学校		中学校		計	
	児童数	学級数	生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
H21	1,867	116	982	41	2,849	157
H25	1,770	94	918	35	2,688	129
H30	1,602	94	840	37	2,442	131
H35	1,487	95	792	35	2,279	130
H40	1,364	90	741	33	2,105	123

※市町合併以降、平成30年度の現在を経て、平成40年度までの児童生徒数は減少を続け、今後10年間で337人が減少する見込み。

表6 規模別小学校数の推移と推計

年度	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	計	
H21	11	9	1	0	21	
H25	7	8	1	0	16	
H30	7	8	1	0	16	
H35	※2	8	7	1	0	16
H40	8	7	1	0	16	

※1 富山、湯里・福波・井田、野城分校

※1 再編により過小規模校4、小規模校1が減。

※2 平成35年度には小規模校から過小規模校へ1校が移行予定でさらに小規模校化が進む。